

平成29年度

運営に関する計画

大阪市立敷津小学校

平成29年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

小規模校ながら、過去6年間(H22~28)で児童数は毎年増え続けてきて、(78→126名)、学校は活気づいている。(H29年4月現在115名、やや減)

平成28年度全国学力・学習状況調査を見ると、国語Aでは、「話すこと・聞くこと」が全国平均よりも4ポイント高く、「読むこと」も全国平均よりも2ポイント高い。しかし、「書くこと」に関しては全国平均よりも11ポイント低く、全校挙げて書くことに力を入れ、『全校児童文集』に取り組んでいるにも関わらず、大きな課題となっている。それに加えて、国語Bでは、どの領域も全国・大阪市平均を大きく下回り、残念な結果となった。算数Aでは、「量と測定」で全国平均よりも6ポイント高く、「数と計算」では大阪市平均とほぼ同じで、少人数習熟度別学習等の成果があらわれている。しかし、算数Bでは、どの領域も全国・大阪市平均を下回り、特に「図形」では全国平均より9ポイント低く、空間認知力の低さがうかがえる。

大阪市小学校学力経年調査を見ると、全学年(3~6年生)全教科(国社算理)において、すべて大阪市の平均以下で、トータル平均8ポイント低い。

数値でも明らかのように、基礎学力の定着に大きな課題がある。

根っこには「基本的生活習慣の乱れ」と「自尊感情の低さ」がある。自分で生活を整える自立心を養いながらも、家庭との連携も試みている。保護者とつながる努力を続けていきたい。一方、古くから地域に在住し、2代、3代と本校に通う世帯も少なくなく、PTA・地域の協力を得ながら、新来の保護者が安心して子育てできるよう支援していきたい。

教職員の課題として、チーム敷津の良さとして培ってきた「受け止める→達成感をもたせる→仲間とつなぐ」教育理念を全体で共有認識し、今年度も大切に継承し、人権教育を基盤とした取り組みを継続していく。また、小規模校・単学級ゆえに、各教職員が抱える校務分掌も必然的に多くなり、協力体制と業務軽減は大きな課題である。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】**

- 平成32年度の児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を平成28年度(72%)より向上させる。
- 平成32年度の児童アンケートにおける「友だちがいじめられている時、どう思いますか」の項目について、「助けようと思う」と答える児童の割合を、平成28年度(63%)より向上させ、「いじめはいけなと思うが何もできない」と答える児童の割合を平成28年度(28%)より減少させる。
- 平成32年度末の保護者アンケートにおける「子どもが楽しく、喜んで学校に行っている」の項目について、「とてもそう思う」と答える保護者の割合を、平成28年度(66%)より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度の大阪市小学校学力経年調査で、4学年・4教科のうち、大阪市の平均を4分の1以上が上回るようにする。
- 平成32年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、「好き」と答える児童の割合を平成28年度（男子78%、女子83%）より向上させる。また、「体育の授業は楽しいですか」の項目について「楽しい」と答える児童の割合を平成28年度（男女とも100%）と同じようになるべく維持する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童（生徒）を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より10ポイント減少させる。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率8割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より10ポイント増加させる。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるシャトルランの平均の記録を、前年度より10ポイント向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立敷津小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (目的別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○ 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○ 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童(生徒)の割合を90%以上にする。</p> <p>○ 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○ 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取り組み内容(1)【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>○いじめの予防と早期発見、初期対応に努める。</p> <p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上、生活指導連絡会(研修会)を実施し、児童理解の情報共有を行い、全教職員が連携して対応に努める。 ・5月、10月、1月に「いごこちのよいクラスにするためのアンケート」を実施する。 ・毎学期、担任が、全児童との個別面談を実施する。 	
<p>取り組み内容(2)【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>○安全・防災・防犯教育を実施する。</p> <p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回以上の避難訓練(事前指導・事後指導を含む)を行う。 ・学期に1回、長期休業前に、安全・防犯指導を行う。 ・毎月2回、地域と連携した「子ども安全見守りの日」を継続する。 	
<p>取り組み内容(3)【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○特別支援教育の充実</p> <p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上、特別支援教育連絡会を実施し、児童理解の情報共有を行い、全教職員が連携して対応に努める。 ・市教委の巡回指導、関係諸機関との連携を図り、年に2回以上の研修を実施する。 	

<p>・子どもの視点に立った丁寧な指導に努め、学校全体で温かい雰囲気を作っていく。</p>	
<p>取り組み内容（４）【施策２ 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○仲間づくり・集団育成を推進する。</p>	
<p>《指標》</p> <p>・週に１回以上、各学級で「みんな遊び」を実施し、どの子どもも楽しく参加できるよう場を工夫し、遊び方を考え、異学年でも遊べるように発展させていく。</p>	
<p>取り組み内容（５）【施策３ 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>○学校ホームページの充実と、メール配信の活用</p>	
<p>《指標》</p> <p>・学校ホームページへの年間アクセス数が前年度（１７０７３回）を上回る。</p> <p>・保護者アンケートでの「学校の情報を何から得ていますか」で、「学校ホームページ」を選ぶ割合が前年度（１８％）を上回る。</p>	
<p>取り組み内容（６）【施策３ 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>○土曜授業等への保護者・地域・外部連携の促進</p>	
<p>《指標》</p> <p>・年６回の土曜授業のうち、３回は保護者・地域と連携した授業を企画する。</p> <p>・全学年で、年に１回以上、保護者参加型の授業やワークショップを行う。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>

<p>達成へ向けての改善点</p>

大阪市立敷津小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (目的別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。 ○ 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童(生徒)を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より10ポイント減少させる。 ○ 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率8割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より10ポイント増加させる。 ○ 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査(校内調査)における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ○ 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるシャトルランの平均の記録を、前年度より10ポイント向上させる。 	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取り組み内容(1)【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書く力」の育成・漢字読み先習の実践 <p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の時点で、全校児童文集『敷津の子』に掲載する作文を、1年200字・2年300字・3年400字・4年500字・5年600字・6年700～800字の分量を、8割以上の児童が自力で書くことができる。 ・ 年度終わりの漢字テストで8割以上の児童が、年度当初の自分を上回る。 	
<p>取り組み内容(2)【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞く力」の育成 <p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童朝会・集会中の聞く態度、よい聞き方で聴くことができているか教職員で、確認する。 よい聞き方 ①話している人の目を見る ②列に並ぶ(体育座りをする) ③口を閉じる ④反応を示す(拍手や挙手) ・ 児童朝会の「校長先生のお話」を聞いて、「題名」「要約」「感想」を1年間、書き続ける。 	

<p>取り組み内容（３）【施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○学習習慣の定着</p>	
<p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後を活用した学習機会を保障する。（浪速区役所まなび支援事業の活用） ・ドリル学習以外に、「自学ノート」の宿題を出す。 	
<p>取り組み内容（４）【施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○教員の授業力向上</p>	
<p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全員が年に１回以上の公開授業（授業研究会）を行う。 ・公開授業以外に、教員に対する授業観察と事後指導を学期に１回以上行う。 ・１月の浪速区の教員研究発表会で実践発表する。 	
<p>取り組み内容（５）【施策６ 国際社会において生き抜く力の育成】 ○英語に親しむ活動の推進</p>	
<p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週火・金曜日の朝、学級活動や音楽・生活科の前１５分を「Shikitsu English Time」として年間３５時間の英語モジュール授業を全学年で実施する。 ・C-NETを全学年で活用する。 	
<p>取り組み内容（６）【施策６ 国際社会において生き抜く力の育成】 ○国際理解・多文化共生教育の推進</p>	
<p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語指導を要する児童の個別の指導計画」を作成して、共通理解を図る。 ・年に１回以上、留学生や外国からの視察団と交流する。 ・４年生は３学期に、大阪中華学校児童と交流する。 	
<p>取り組み内容（７）【施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○基本的な生活習慣の定着</p>	
<p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に２回、ハンカチ・ティッシュ・つめ調べを行い、達成率を示すことによって意識を高めていく。 ・けがの予防について委員会で児童から工夫やアイデアを募集し、児童集会で広げる機会をつくり、校内でのけがの減少に努める。 	
<p>取り組み内容（８）【施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○体力向上</p>	
<p>《指標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年２回以上、全校で体力向上週間（なわとび・かけあし等）を実施する。 ・わんぱく相撲、フレンズカップのバレーボール・ソフトボール、小体連の陸上・水泳等、運動で活躍する機会を増やし、それに参加する児童を増やす。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

達成へ向けての改善点